

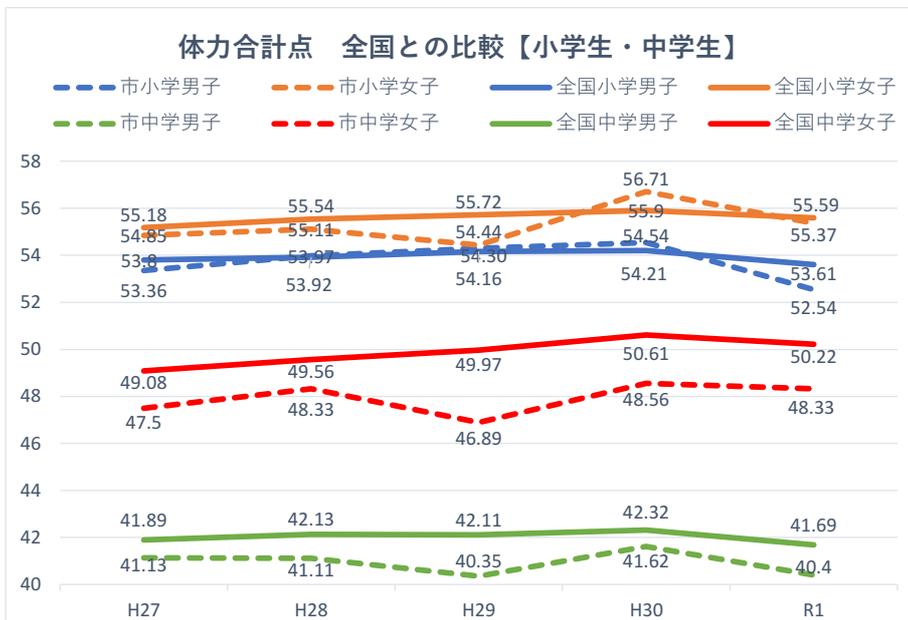
中学生を対象とした全市型スポーツスクールについて

生涯学習・スポーツ課

1 子どもたちの実態

(1) 体力・運動能力調査の結果 全国との比較

		H27	H28	H29	H30	R1	R2
小学生 5年生	飯田市男子	53.36	53.97	54.30	54.54	52.54	未実施
	飯田市女子	54.85	55.11	54.44	56.71	55.37	
	全国男子	53.80	53.92	54.16	54.21	53.61	
	全国女子	55.18	55.54	55.72	55.90	55.59	
中学生 2年生	飯田市男子	41.13	41.11	40.35	41.62	40.40	
	飯田市女子	47.50	48.33	46.89	48.56	48.33	
	全国男子	41.89	42.13	42.11	42.32	41.69	
	全国女子	49.08	49.56	49.97	50.61	50.22	



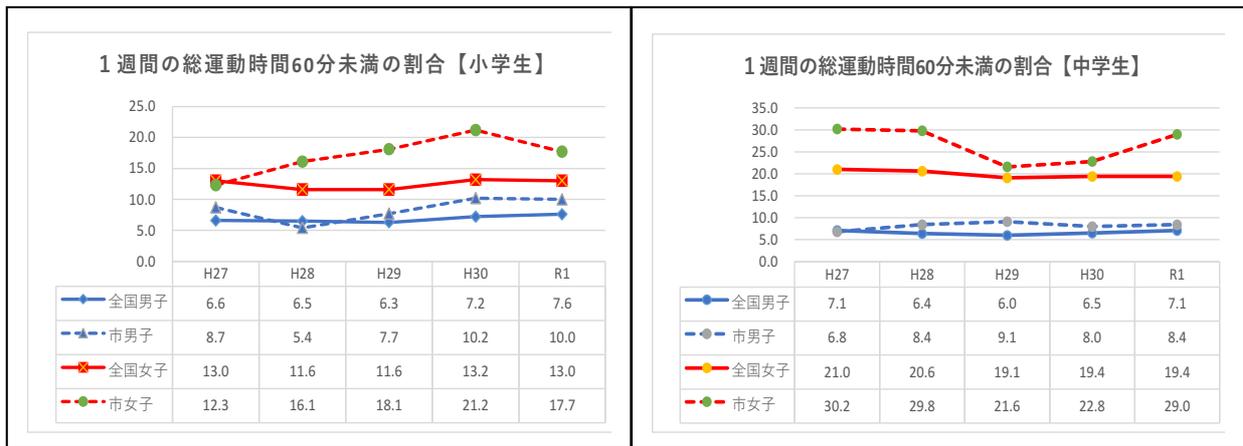
(2) 運動部活動の加入率

		H27				R2				R3			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
生徒数 (人)	男子	478	520	520	1,518	469	465	445	1,379	453	469	464	1,386
	女子	503	547	518	1,568	483	458	427	1,368	436	485	457	1,378
運動部員数 (人)	男子	353	370	392	1,115	298	291	270	859				876
	女子	219	262	228	709	235	217	172	624				618
加入率 (%)	男子	73.8	71.2	75.4	73.5	63.5	62.6	60.7	62.3	0.0	0.0	0.0	63.2
	女子	43.5	47.9	44.0	45.2	48.7	47.4	40.3	45.6	0.0	0.0	0.0	44.8
	計	58.3	59.2	59.7	59.1	56.0	55.0	50.7	54.0	0.0	0.0	0.0	54.1

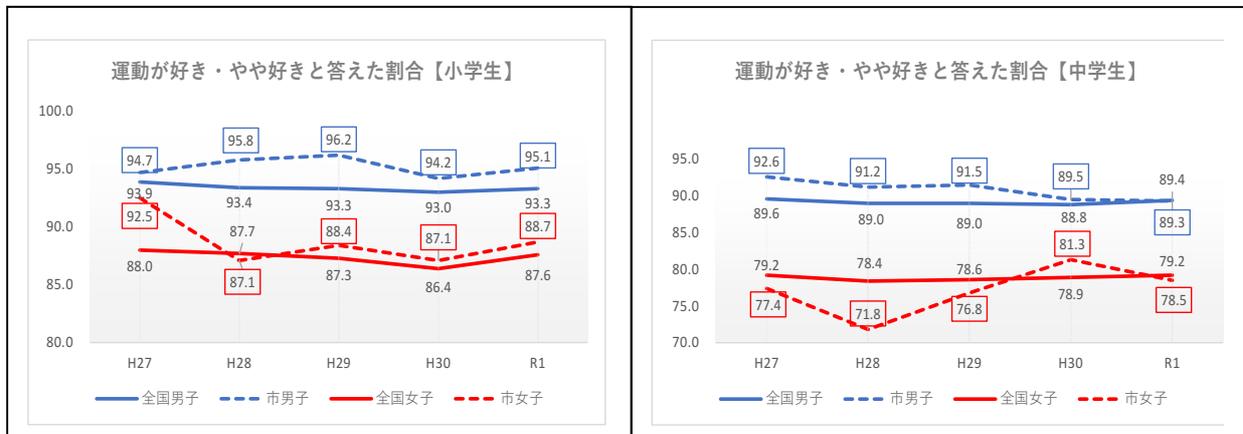
R2 と H27 の比較 ○全学年で運動部加入率は低下し、3学年を合わせた加入率は、▲5.1%

○男子は 11.2%減少し、女子は同水準を維持している

(3) 1週間の総運動時間が60分未満の児童・生徒の割合（体育授業以外 運動習慣等調査）



(4) 運動が好き・やや好きと答えた割合（運動習慣等等調査）



2 中学生期のスポーツ活動の課題と課題解決の方向性

課題① 日常的な運動時間やスポーツ機会の減少

- ・生徒数の減少による選択できる部活動数の減少、運動部活動の加入率低下
 - ・1週間の総運動時間が60分未満の割合が高い…児童・生徒の通学は保護者の送り迎えが増え、日常生活においても歩くことが少なくなっていることも懸念材料
- ⇒運動機会の少ない生徒に対して、スポーツに親しむきっかけを提供する

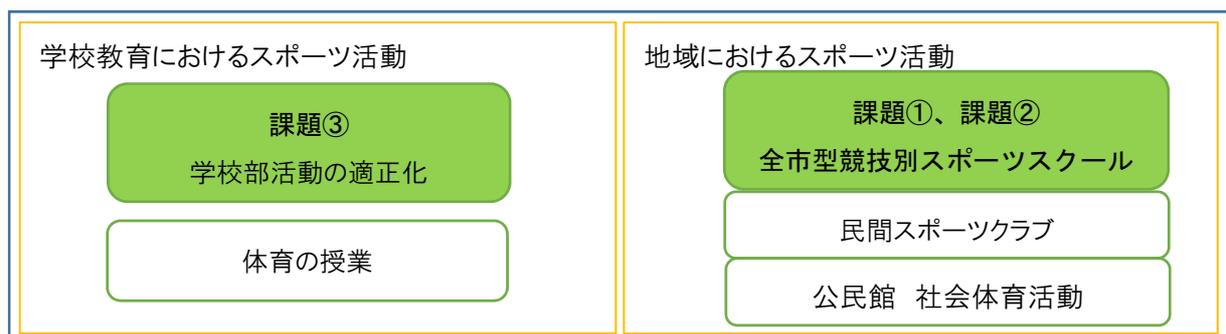
課題② 適切な指導のもと競技力の向上を目指す機会が少ない（指導者の不足）

- ・一部の社会体育における過剰なスポーツ活動の実施
 - ・R2 スポーツスクール参加生徒アンケートでは、上手になりたい、技術・戦術面で上達したと回答した割合が高く、75%の生徒が参加したことに満足している
- ⇒適切な指導のもと競技力の向上につながる機会を提供する、指導者の資質向上

課題③ 長時間化する部活動を含めたスポーツ活動の過熱化による心身のケガのリスク

- ・学校部活動、社会体育を含めた練習時間の長時間化 実態調査(H30)では約665時間
 - ・身体のけが オーバーユース：年間8か月以上競技練習を行っている
競技種目を限定：主に行うスポーツを1種目に決めている
 - ・心のけが 過度の心身へのストレスの継続によるバーンアウト（燃え尽き）
- ⇒体と心を回復してリフレッシュするために十分な時間を確保する

3 課題解決のための当面の重点取組（いいだ未来デザイン 2028 基本目標 5 小戦略⑥）



4 全市型競技別スポーツスクールの取組

(1) 取組の経過

	実施期間	対象者	競技種目数	延参加人数・参加生徒数
令和元年度	1月(試行実施)	中学	8	603人・164人
令和2年度	9月～3月(本格実施)	1・2年生	13	1,380人・176人

(2) 令和3年度の取組内容

○生徒の成長と豊かな社会性を育み、生涯にわたるスポーツライフの実現につながるために、

①さまざまな競技種目にふれてスポーツを楽しむ機会を提供＝「やってみたい！」を応援

※特に ①－ア 日常的にスポーツに親しむ機会の少ない生徒が体験できる機会

①－イ 他のスポーツをやってみようという生徒が体験できる機会

②専門性の高い指導にふれて、技能を高める機会を提供＝「上手になりたい！」を応援

○対象者 中学1・2・3年生（対象者に追加、受験の時期に配慮）

○実施状況と今後の予定

	①体験型スクール【7月～3月】新規	②競技力向上スクール【9月～3月】
～8月	7/10(土)アーチェリー 7/11(日)複数種目体験イベント 7/12.26(月)空手 8/2.16.23.30(月)空手	
9月～	バレーボール男子 バスケットボール男女 サッカー、ソフトテニス 硬式テニス、バドミントン 弓道、アーチェリー 空手、柔道、合気道 陸上(ISジュニア・イイダッシュ) マレットゴルフ スキー・スノーボード 14種目	バレーボール男子 バスケットボール男女 サッカー、ソフトテニス 硬式テニス、バドミントン 弓道、アーチェリー 空手、柔道、合気道 陸上(トップアスリート) スキー・スノーボード 13種目